

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公表番号】特表2015-530665(P2015-530665A)

【公表日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-064

【出願番号】特願2015-531173(P2015-531173)

【国際特許分類】

G 06 F 21/62 (2013.01)

G 06 F 21/10 (2013.01)

【F I】

G 06 F 21/62 3 4 5

G 06 F 21/10 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月10日(2016.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機密プライベート情報がパブリック・ネットワークに漏洩したか否かを判定するためのシステムであって、

少なくとも1つのプロセッサ、メモリ、及びネットワーク・インターフェースを含むコンピュータと、

アプリケーション・プログラムにより生成された機密コンテンツを含むプライベート・デジタル・ファイルと、

前記プロセッサの前記メモリにおいて実行されるプライベート情報照合プロセスであって、

前記プライベート・デジタル・ファイルを受け取り、

前記プライベート・デジタル・ファイルを処理し、そのスニペット部分を生成し、パブリック・ネットワークから前記ネットワーク・インターフェースを介して複数のパブリック・デジタル・ファイルを受信し、

前記パブリック・デジタル・ファイルを処理し、そのスニペット部分を生成し、

前記プライベート・デジタル・ファイルの前記生成されたスニペットを、前記パブリック・デジタル・ファイルの前記生成されたスニペットと照合し、前記プライベート・デジタル・ファイルの前記コンテンツの少なくとも一部が、前記パブリック・ネットワークに接続された他のコンピュータにとってアクセス可能であるか否かを判定するように構成された、プライベート情報照合プロセスと

を含むシステム。

【請求項2】

前記スニペット部分はそれぞれ、デジタル・ファイルの複数の回転チャinkerをさらに含み、第1のチャinkerを含む第1のスニペット部分は、前記ファイル中の第1の一組のワードを含み、第2のチャinkerを含む第2のスニペット部分は、前記ファイル中の第2の一組のワードを含み、前記第2の一組のワードは、前記第1の一組のワード中のワードの全部ではない少なくとも一部、及びそれに加えて前記ファイルからの幾つかの他のワードを含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項 3】

前記プライベート情報照合プロセスは、前記プライベート・ファイル、及び前記パブリック・ファイルのハッシュを計算するように構成される、請求項1に記載のシステム。

【請求項 4】

前記プライベート情報照合プロセスは、前記プライベート・ファイル及びパブリック・ファイルの前記チャンクの各々のハッシュを計算するようにさらに構成される、請求項2に記載のシステム。

【請求項 5】

前記プライベート情報照合プロセスは、少なくとも1つのパブリック・デジタル・ファイルの対応する連続スニペットに一致するプライベート・デジタル・ファイルの連続スニペットを、一致ワードの少なくとも1つの連続ブロックとして集約するようにさらに構成される、請求項4に記載のシステム。

【請求項 6】

前記プライベート情報照合プロセスは、ユーザ・インターフェースを介して、プライベート・ファイル、及び一致したパブリック・ファイルの指示を、一致割合のグラフィカル表示を用いて表示するようにさらに構成される、請求項1に記載のシステム。

【請求項 7】

受け取った前記プライベート・デジタル・ファイルは、少なくとも一部の情報を無視して、もとのデジタル・ファイルの前記コンテンツの一部のみを含み、もとのプライベート・ファイルの前記コンテンツの全部を含まない、請求項1に記載のシステム。

【請求項 8】

前記プライベート情報照合プロセスは、前記プライベート・ファイルの前記スニペットを、前記パブリック・ファイルの前記スニペットと照合し、前記照合から得られた指定された条況を無視するようにさらに構成される、請求項5に記載のシステム。

【請求項 9】

前記プライベート情報照合プロセスは、スニペット分類を考慮して、前記プライベート・ファイルの前記スニペットを、前記パブリック・ファイルの前記スニペットと照合するようにさらに構成される、請求項5に記載のシステム。

【請求項 10】

前記プライベート情報照合プロセスは、前記パブリック・ファイル中の反復スニペットを無視するようにさらに構成される、請求項8に記載のシステム。